夢都里路通信

第１１０号

発行日２０１７．１１．２０

生活クラブ連合会
TEL:03-5291-6700
FAX:03-5285-1839

★ 夢都里路くらぶの研修生が、就農を決意！

●「やさか農村塾で2年間の研修を終えて、就農を決意しました！」

ハウスでの葉物も管理を任されています

・2015年春に中学を卒業後、やさか共同農場に入塾しました。母親が生活クラブ長野の組合員で、市販の食べ物の問題点などを聞いていました。両親の作る家庭菜園の野菜のおいしさを感じ、自分で作ったものを他人に食べてもらいたいと思うようになり、まず栽培を学ぼうと思いました。

研修先としてやさか共同農場を選んだのには、母親の「有機農業での研修」の勧めがありました。

初めは不安も多く、共同生活という初めての環境になじめず、嫌だと思うことも多かったですが、20代の先輩に相談に乗ってもらい、支えられてここまで続けることができました。

2年間の研修を経て、今後も継続して「やさか」にて農業に携わることを決意し、今年4月よりやさか共同農場の社員となりました。6月には自動車普通免許も取り、圃場やハウスまで、一人で行けるようになり、ハウスの小松菜・ホウレンソウの播種、管理、切り干し大根用の露地大根の管理を任されています。住まいも研修施設を出て、集落の町営住宅で一人暮らしを始めたところです。

実際に1人で作業をやるようになると、作業も遅かったりで思うように進まないことや失敗も多く、心配は尽きないですが、トラクターなど農業機械も使えるようになり面白くなってきたところです。将来は長野に帰って独立したいという夢もあります。（Hさん、談）

・来た当時は本当におとなしく大丈夫かな、と心配しましたが、まわりに若い先輩がいたのが良かったのか、すっかり元気になり、周りになじんでいます。これからいろいろ経験して頑張って欲しいと思います。（佐藤大輔やさか共同農場代表）

これまでやさか農村塾には夢都里路くらぶから、3人が入塾して研修を受けました。Hさんは終了後の就農（就業）につながった第1号です。

切り干し大根用の有機大根の圃場

★ 秋の援農が始まりました

●「クロモジの香りがすごく良くて癒されました」（水源地「たのめの里」秋の森づくり；塩尻市）

クロモジの採取

・初日は公園作りの為景観を良くする、見通しをよくするために木の伐採をしました。背の高さで分かれている枝も切落しました。2日目は少し山に登りクロモジの収穫でした。よく似た木があり、見つけるのが楽しく、木も柔らかくてスコスコきれて気持ちよかったです。緑に囲まれた作業はとても気持ちよく楽しかったです。何より、クロモジの香りがすごく良くて癒されながら、作業できました。（大阪、30代女性）

・爽やかな森の中での作業で、終始しゃがんでの農作業とは違って、作業的には腰の負担が少なくて楽に感じました。1泊2日というのは少し短すぎるように感じました。（兵庫、60代男性）

●「 あっという間に１日が過ぎ、おしゃべりも大変有意義」（赤とうがらしの収穫；JA庄内みどり）

・赤唐辛子の圃場からの収穫後、出荷用に実と、枝を残て、葉、使えない実を取り去る、実だけとる作業を行いました。生産者、農協、そのほか多くの皆様と交流できたこと、農業の抱える問題、ご苦労を知りえたこと、現地の豊かな自然に触れたことも大収穫でした。（神奈川、70代男性）

ハウスで赤とうがらしの調整

・家族労働のみでは、作業が追いつかないため、大助かりでした。天候に恵まれて、おしゃべりに花がさき、とても和やかな雰囲気で作業が出来ました。援農で取り組んだ赤とうがらしを、もっとPRしたいと思いました。（JA庄内みどり遠田さん）

企画への申込・問い合わせは、夢都里路（ゆとりろ）くらぶ **TEL:03-5291-6700** まで

次号発行予定 12/20ごろ